

茨城就職氷河期世代活躍支援プラットフォームについて

茨城労働局と茨城県は、就職氷河期世代の方の就職・正社員化や社会参加の実現に向けた取組を官民一体となって推進するため、経済団体、労働団体、業界団体等で構成する「茨城就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」を令和2年8月に設置しました。

1 策定の背景／目的

いわゆる就職氷河期世代※は、バブル崩壊後の雇用環境が厳しい時期に就職活動を行った世代であり、希望する就職ができず、現在も、不本意ながら不安定な仕事に就いている、無業やひきこもりの状態にあるなど、様々な課題に直面している方は全国で約100万人に上ると見込まれています。「茨城就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」では、こうした就職氷河期世代が抱える課題を踏まえ、官民一体となって一人一人の状況に応じた支援に取り組むことにより、就職氷河期世代の就職・正社員化、職場定着の促進及び多様な社会参加の実現を目指します。

※概ね平成5（1993）年～平成16（2004）年に学校卒業期を迎えた世代。

2 目標

- ・就職氷河期世代の正規雇用者を7,500人増やします。（政府の目標（骨太方針2019）である30万人の約2.5%）
- ・長期間無業状態の方には、地域若者サポートステーションにおいて、就職活動へ踏み出すための支援を行い、就労等につなげます。
- ・社会参加に向けた支援を必要とする方には、一人一人の状況に合わせた、就労に限らない多様な社会参加に向けた支援体制の充実を目指します。

3 計画期間

令和2年度から令和6年度までの5年間

4 取組の方向性

- ・プラットフォームによる各界一体となった取り組みを推進
- ・就職氷河期世代、一人一人につながる積極的な広報
- ・対象者の個別の状況に応じた細やかな各種事業の展開